

カルスト通信

も り 森林のたより

Karst
correspondence

2023
vol.48



カルスト森林組合

《資産の部》		《負債の部》	
流動資産合計	456,324,704	流動負債合計	70,051,859
固定資産		固定負債合計	49,558,153
有形固定資産計	23,619,669	負債合計	119,610,012
無形固定資産計	15,406,472	《純資産の部》	
外部出資計	57,149,000	出資金合計	155,446,500
その他の固定資産計	0	利益剰余金合計	277,387,333
固定資産合計	96,175,141	資本準備金合計	56,000
繰延資産合計	0	組員資本/純資産合計	432,889,833
資産合計	552,499,845	負債及び純資産合計	552,499,845

科 目	計	指 導	販 売	加 工	森林整備
I 事業総損益					
1.事業総収益	483,400,297	0	16,242,391	0	467,157,906
2.事業総費用	267,262,437	2,285,696	7,198,801	0	257,777,940
事業総利益	216,137,860	△2,285,696	9,043,590	0	209,379,966
II 事業損益					
1.人件費	129,753,618	1,161,838	1,071,734	0	127,520,046
2.旅費・交通費	408,620	1,822	7,039	0	399,759
3.事務費	2,494,436	15,341	25,146	0	2,453,949
4.業務費	2,377,618	14,622	23,968	0	2,339,028
5.諸税負担金	17,821,188	6,123	178,988	0	17,636,077
6.施設費	14,331,244	88,137	144,470	0	14,098,637
7.雑 費	632,853	3,892	6,380	0	622,581
事業管理費計	167,819,577	1,291,775	1,457,725	0	165,070,077
事業利益	48,318,283	△3,577,471	7,585,865	0	44,309,889

III 経常損益	
1.事業外収益	5,240,992
2.事業外費用	726,000
事業外損益	4,514,992
経常利益	52,833,275
IV 特別損益	
1.特別利益	578,552
2.特別損失	21,434
特別損益	557,118
税引前当期利益	53,390,393
法人税、住民税及び事業税額	15,000,000
当期剰余金	38,390,393
前期繰越剰余金 ※1	7,483,163
目的積立金取崩額	0
当期末処分剰余金	45,873,556

科 目	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			45,873,556
II 剰余金処分額			38,000,000
1.法定準備金 ※2		18,000,000	
2.任意積立金 ※3		20,000,000	
III 次期繰越剰余金 ※4			7,873,556

※1. 前期繰越剰余金のうち、教育情報資金は、1,000,000円であった。

※2. 法定準備金は当期剰余金の5分の1以上である。

※3. 任意積立金のうち、目的積立金は現在ありません。

※4. 次期繰越剰余金のうち、教育情報資金は、2,000,000円である。

第26回通常総代会提出議案

- *第1号議案 令和4年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について
- *第2号議案 令和5年度事業計画の設定について
- *第3号議案 令和5年度役員報酬の決定について
- *第4号議案 令和5年度森林保険調査事務手数料の決定について
- *第5号議案 令和5年度における借入金の最高限度額の決定について
- *第6号議案 令和5年度における貸付金の利率並びに一組員に対する貸付金額の最高限度額の決定について
- *第7号議案 令和5年度における余裕金預け入れ先金融機関の決定について
- *第8号議案 カルスト森林組合定款の一部改正について
- *第9号議案 定款附属書、役員選任規程の一部改正について
- *第10号議案 カルスト森林組合理約の一部改正について
- *第11号議案 役員退任慰労金支給規程の一部改正について
- *付帯決議 総代会の議決事項中、行政庁に提出する書類が、当該行政庁の指示に基づき補正変更を要する場合は、議決の主旨に反しない範囲において字句の修正等の補正変更を理事会に一任する

通常総代会開催！

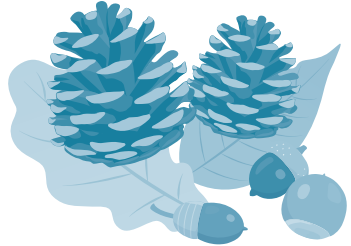
第26回通常総代会を令和5年8月22日(火)・午後1時30分よりサンワーク美祢(美祢勤労者総合福祉センター)で開催した。

出席者数は、総代定数200名に対し、本人出席86名、委任出席0名、書面出席72名、合計158名で、出席率79%であった。

議長には美祢市美東町の地区総代の大吞俊彦氏を満場一致で選任し、第1号議案から第11号議案、付帯決議まで挙手多数で可決・承認され、議案の審議を終了した。



組合長
高須 修三



ごあいさつ

仲秋の候、組合員の皆様にはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

過日、第26回通常総代会(8月22日)を開催し、大勢の来賓の皆様にお越し頂きました。また、総代会の中で議案説明を行いましたところ、運営に関して、貴重なご質問やご意見を賜り、厚くお礼申し上げます。今後さらに経営改善等を進め、ご期待頂ける組合を目指したいと思っています。

さて、当組合の主要事業でもあります森林整備事業の強化を急がねばなりません。令和元年から表して見ますと、用材の生産量は徐々に減少傾向にあります。それに対してバイオマス材の生産量は増加傾向にあり、販売単価の価格差からして経営に不利な状況と言えます。その反面、低質材がバイオマス材等の木質資源として活用されはじめたことで、従来の様に伐採後の林地に残渣を多く残すことがなくなり、植林のための地拵えが軽減出来て「植える・育てる」ことに有利に働いています。しかし、資金面・継承者等の不安、林業従事者の不足から、管内の再造林率は17.1%にとどまっています。これも徐々にではありますが、行政等の支援の基に、改善方向にあります。今後も、低質材をバイオマス材として活用する動きは需要の拡大に伴い、生産量も増加すると思われます。良質材との価格差が経営に悪影響を及ぼさな

など、産業全体の底上げが必要となります。当組合も、森林整備事業・基盤整備事業を核として、生産性の強化を図り、対応していかねければなりません。特に、作業効率の向上のために距離等を意識する、また、面的な施業を効率よく行うなどして、「コンパクトな地域循環型モデル」を構築することが重要と考えています。

県や3市にご支援を頂き導入したGNSS測量(人工衛星を使用した測位技術)やUAV(無人航空機)は、空中写真撮影とその解析など、情報収集の精度向上と、測量等の所要時間の大幅な短縮が実現し、作業への早期着手に役立っています。これらの技術を駆使して、木材搬出等が地形的に困難な地域においても、資源の利活用と山林の健全化に向けて取り組んでまいります。

今、巷では、『地域循環共生圏(ローカルSDGs)』が然も重要に訴えられています。ここで重要視されているのは「地域資源の活用」「自立・分散型」「補完し支え合う」ということです。これらは、我々林業関係者であれば、木材等の資源を活用しながら環境・社会・経済の一助を担い、すでに体現してきたものと言えます。

この自負を下支えしていた技術だけでなく、達成感や充実感等の精神的な部分を、生活スタイルも思考も違う若い担い手世代にどう伝えるか。彼らをどう支えるか。林業従事者や森林組合の職員不足の悩みは依然として大きいのですが、試行錯誤を続けています。

また最近、当組合には、災害復旧の後方支援や、再生可能エネルギーによる新たな地方創生の一端を担うこと等、地域内で求められる役割に様々な広がりがあります。これらも成長の機会と捉え、地域貢献等、可能な限りさせて頂きたいと考えています。

依然として、林業経営を取り巻く環境は、厳しい状況にあります。組合運営には役職員一丸となって、努めて参ります。組合員の皆様には、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

再造林をお勧めします！

スギやヒノキを伐採した後、放置したままの森林はありませんか。

森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化防止、木材の生産等、多面的機能を有した大切な資源です。森林資源の循環利用（伐る・使う・植える・育てる）を持続的に行うことは、健全で豊かな森林を次世代に引き継ぐことにつながります。

これから伐採をお考えの方は是非、再造林をご検討ください。

補助率等も大幅に変更しており、取り組みやすくなっております。

●補助率等

- (1) 面積要件 ■ 1 施工地当たり0.10ha以上
- (2) 補 助 率 ■ 90～100%（植栽樹種や本数による、補助金の上限額があります。）

カルスト森林組合では次の取組を進めています。

①伐採者との連携

伐採の際に使用した機械で林地を片付けることで、地拵えの手間と経費を削減。

《地拵えの手間軽減の場合》

※伐採後の枝葉は、伐採の際に使った機械で小分けに集積。



《地拵えの手間増加の場合》

※伐採後の枝葉が散在している状態。



② 1 ha当たり2,000本の植栽

通常（1 ha当たり2,500～3,000本）より、低密度の植栽で造林経費を削減。

③ コンテナ苗等を活用した植栽

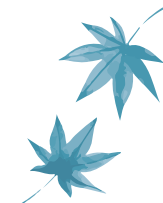
植穴が小さくて済み、活着の良いコンテナ苗等の活用により、造林・保育作業を軽減。

※造林補助を受けるには、様々な要件を満たす必要があります。
詳しくは、カルスト森林組合までお尋ねください。

活動報告

林業災害消防レスキュー訓練

労働災害の発生頻度の高い林業において、奥山で作業する労働災害の被災者を、いかに安全かつ迅速に救出するかは非常に重要です。これに必要な知識と救出手順等を美祢市消防本部の方を講師として招き学びました。



搬送訓練▶



▲伐木の下敷きになった被災者の救出訓練

研修会参加



美祢市主催「チームの力でミスを防ぐ」、「チーム力を支えるコミュニケーション」と題したJAL講師によるセミナーに職員が参加し、組織でのチーム力を再認識し、今後もチーム一丸となり取り組んでまいります。



イベント参加

イベントに参加し、林業を知ってもらい、林業機械に触れてもらいました。



▲グラップル付バックホウでの丸太積み体験

施設見学

令和5年6月に開所した、山口県森林組合連合会 西部事業所（美祢市豊田前町麻生下）の施設見学があり、山口県西部地域での集荷拠点としての役割と、原木自動選別機が導入されたことで効率的に選木できるようになりました。



◀原木自動選別機





9月1日付で機構の人事配置に変更がありましたのでお知らせいたします。

採用

退職

私たちと一緒に働きませんか！
ご興味のある方のご連絡をお待ちしています。

編集後記

2023 vol.48 (年2回発行)

この度の豪雨により、被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
当組合では林業機械の性能を最大限活用し、災害復旧に協力することができました。
地球温暖化などの影響により、年平均気温、猛暑日、激しい雨など年間発生数が増えています。森林の持つ多面的機能が注目され、機能の増進が求められています。これからも森林整備をすすめ、皆様のお役に立てるようにして参ります。

豪雨による災害復旧協力の様子



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL.0837-52-3332 / FAX.0837-52-2587